

みえ高齢者元気・かがやきプランの策定にあたって



我が国では急速に高齢化が進行しており、本県においても65歳以上の人口は数・率ともに増加を続けていくと推計されています。「団塊ジュニア世代」が全て65歳以上となる令和22(2040)年には、県内における65歳以上の人口は55万6千人に達し、2.7人に1人が65歳以上となることが予想されています。さらに、要介護者・要支援者、一人暮らし高齢者、認知症高齢者の増加も見込まれます。

高齢者を取り巻くこうした状況に対応するため、医療、介護、予防、住まい、生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」のさらなる深化・推進が必要となります。

このたび、これまでの取組の検証もふまえ、令和6(2024)年度からの3か年を計画期間とする「みえ高齢者元気・かがやきプラン」(「第9期三重県介護保険事業支援計画・第10次高齢者福祉計画」)を策定しました。

このプランでは、「介護サービス基盤の整備」、「地域包括ケアシステム推進のための支援」、「認知症施策の推進」、「安全安心のまちづくり」、「地域包括ケアシステムを支える介護人材の確保および生産性向上の推進」、「介護保険制度の円滑な運営と介護給付の適正化」の6つを柱に、地域共生社会の実現をめざします。

特に、少子高齢化が進む中、介護現場を支える介護人材の確保は最重要課題であることから、外国人材や介護助手等の多様な人材の確保、介護職員の離職防止や処遇改善、介護現場の生産性向上の推進など、様々な施策にしっかりと取り組んでまいります。

さらに、同時に策定する「第8次三重県医療計画」とも歩調をあわせ、医療・介護連携のさらなる推進に努めます。

このプランの取組を通じて「高齢者が元気に輝きながら暮らすことができる地域」をめざしてまいりますので、皆様のご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

令和6年3月

三重県知事 一見勝之

